

プロジェクト課題No.3
気候変動や難防除病害虫の対策技術導入による
トマトの大規模施設経営体の生産安定

活動期間:令和8年度～令和9年度

対 象 者 :トマトの大規模施設経営体 5法人

チーム員:◎丸田凌太郎、小野寺恭子、進藤友恵、田中孝太郎

1

01 課題の背景・ねらい

- 夏季の高温が障害要因となり、着果数の減少や不良果が発生

⇒夏～秋の生産数量が減少すると経営への影響も大きい

高温に対応する技術導入が求められている

- 難防除病害である「**黄化葉巻病**」の被害が拡大

⇒感染株に治療法がないため、収量への影響が大きい

媒介するタバコナジラミの防除技術導入が求められている

2

2

01 課題の背景・ねらい

【定性的目標】

- 各々の施設に適した効果的な高温対策が導入される
- 黄化葉巻病などの難防除病害虫への被害拡大が未然に防がれる
- 生産技術の改善に向けた意識が高まる

【定量的数値目標】

追加または改善された対策技術の延べ数

R7 : 0 件 (現状) ➡ R8 : 5 件 ➡ R9 : 10 件

3

3

02 活動内容

(1) 施設内環境制御と病害虫防除に関する技術導入及び改善支援

① 高温対策

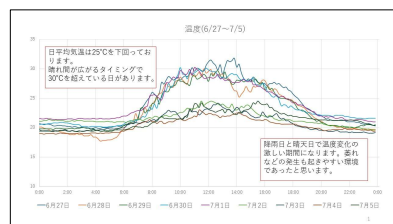
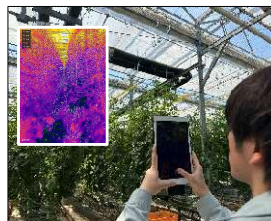
環境制御とは……

ハウス内の温度・湿度・日射・CO₂濃度などを測定し、作物が育ちやすい状態に調整すること。
換気・遮光・かん水・CO₂施用を組み合わせ、収量と品質を安定させる技術。

サーモカメラや環境データのグラフ化等により施設内環境を「見える化」



高温対策技術の効果確認
改善方法の検討



4

4

02 活動内容

(1) 施設内環境制御と病害虫防除に関する技術導入及び改善支援

② 黄化葉巻病対策

黄化葉巻病とは……

タバコナジラミが媒介する病気で、感染すると生育不良や着果不良が生じる。治療がないため、タバコナジラミ防除や感染株の早期除去などが必要。



タバコナジラミ防除に係る各種殺虫剤や「振動防除」等の実証試験の実施
黄化葉巻病発生状況の品種間差等を確認



黄化葉巻病対策の効果確認
改善方法の検討



5

02 活動内容

(2) 生産者間の技術情報共有促進に関する支援

○グロワー（栽培担当者）交流会



○情報提供による技術交流

遮熱剤を厚く塗ったら温度が2℃下がった

タバコナジラミの発生が多かった

天敵製剤を試験的に導入している

（春先の低温で）樹勢管理が難しかった

など……

遮熱剤等の高温対策、タバコナジラミ対策等
生産者間の技術情報の共有促進



参加できなかった経営体へ情報提供
各経営体の取り組み情報提供

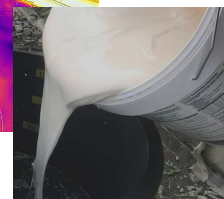
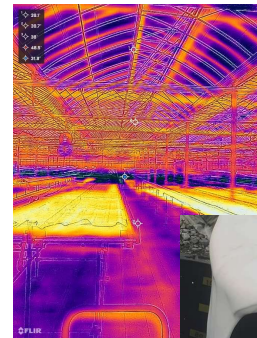
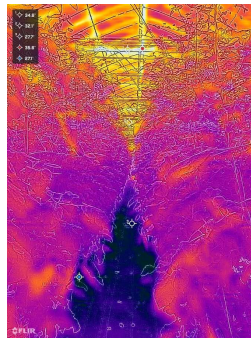
6

6

03 これまでの活動成果

○環境制御対策 4件

経営体	改善・導入状況
A	散布時期を前進化 使用量も増加
B	散布時期を前進化 使用量も増加
C	遮光剤から遮熱剤へ変更 塗布回数を増加
D	散布時期を前進化



↑遮熱剤
ReduHeatカタログより

○病虫害防除対策

新規薬剤、天敵製剤、耐病性品種導入の動きあり

7

7

04 今後の対応

(1) 施設内環境制御と病虫害防除に関する技術導入及び改善支援

- ・各経営体で導入された技術対策の効果を整理
- ・各経営体の状況に適した技術の導入支援



↑天敵：タバコカスミカメの導入の検討

出典：宮城県 普及に移す技術より

(2) 生産者間の技術情報共有促進に関する支援

- ・効果的な対策技術の情報共有
- ・オンライン交流会等、新たな情報交換の仕組みづくりを検討

8

8